

## 「現地を訪問して思うこと」福島会津コース

鈴木祐子

東海地震が切迫している、と言われ続ける静岡県に住む者として、まさに他人事ではない出来事が東日本大震災でした。さらに思いもよらなかった原発事故。想像を超える大災害に、遠く離れた地域の私たちも言葉を失いました。月日が過ぎ 2 年半、しだいに記憶の中の 1 ページになっていく怖さを感じています。今だからこそ、もう一度しっかり向き合い考える機会にしたい、という思いで参加しました。

今回、風評被害になお苦しんでいる会津地方を訪れ「風評」とは何なのだろうか、と改めて考えてしまいました。できるだけ疑わしいものは避けたい、危険と思われる所からはできるだけ離れたい、それは当然の選択だと思います。命を守るためです。しかし、漠然とした不安から、100%の安心を得たいといった方向に走ってしまうのは少し違うのではないかと、と感じました。これからも機会あるごとにこのような問題について考え、被災地の方々と問題意識を共有していきたいと思っています。

今回のツアー、たった二日でしたが、会津の素晴らしい歴史と自然にふれることもできました。まわりの地域の人達に、福島の良いところを伝え、観光に行くことで応援しようよ、とよびかけています。

全国の校友のネットワークにより、校友会活動の枠を超えた社会貢献も出来るのだ、という思いを強くしました。